

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
令和4年度 第1回理事会 議事録

- 1.開催日時 令和4年4月22日 午後7:05～午後8:30
- 2.開催場所 ZOOM会議
- 3.理事総数 12名
- 4.出席者数 5名（書面表決書5名）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、森川貞夫、小林均 敬称略）
書面表決書（前河洋一、鈴木良雄、岩山海渡、菅原由大、比嘉正樹 敬称略）
オブザーバー（進藤充 敬称略）
- 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第1号議案 前回理事会（3月25日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったので承認されたものとする旨報告があった。
- 第2号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として宇佐美彰朗氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第3号議案 令和3年度事業報告書案について
保原氏より、前理事会で承認された事業報告書、会計報告書（「活動計算書」、「計算書類の注記」、「貸借対照表」、「財産目録」）等について所定の様式まとめた提出書類の説明があり、承認された。
会計書類については未払金等の精査を行い数字を確定した後、監事による監査および総会承認を経て都庁に提出する予定である。
- 第4号議案 事業復活支援金について
保原氏より、経済産業省から支給される「事業復活支援金」に対し3月に申請し、4月1日に100万円が支給された旨報告があった。対象月は令和3年11月～令和4年3月までの5ヶ月間である。
- 第5号議案 令和4年度事業計画について
保原氏より、令和4年度事業計画について説明があった。

継続事業の進捗状況は下記の通りである。

- 「2022 メルボルンマラソン」
4月13日に参加者募集を開始し、現時点では3名の申し込みあり。
- 「JSIEエコノミカルランニング教室」、「熟年ランニングスクール」
それぞれ、4月2日(土)、4月5日(火)に本年度の活動を開始。

■ 「北海道マラソン教室」

ランナーズサポート北海道から要望のあった北海道マラソン前日のトークショーへの前河副理事長の出演の他、前理事会で提案があった宇佐美副理事長のエコノミカルランニング教室をスケジュールに組み込んで頂くように提案したが、スケジュール調整が難しいという連絡あり。

新規事業として下記提案があり、審議を行った。

■ 「大船渡アスリート応援団」活動支援（担当：保原）

2019年に大船渡高校出身の佐々木朗希投手が千葉ロッテにドラフト1位で指名された時から大船渡市に応援組織の構築を働きかけていたが、市ゆかりの他のアスリートも含めた形での「大船渡アスリート応援団」が昨年10月に正式に設立された。

その一環として、保原氏が副会長を務める「首都圏さんりく大船渡人」が「球場に行こうプロジェクト～佐々木朗希がんばれー！～」を展開することになったので、その運営を当協会で支援。

具体的には、ロッテホームゲームでの朗希登板日に応援団用の席を確保して応援団を結成する手伝いをする。収支は±0になる予定（収入；¥352,000、支出；¥352,000）。

⇒ 承認された。

■ 「伴走師資格認定」⇒「障がい者スポーツを考える集い」（担当：進藤、山西他）

昨年開催された、東京パラリンピックで、多くの感動を伴い、障がい者スポーツ観の広がりを見せており。そこで、まず障がい者アスリートを招き講話と実技によって、交流の場を設ける集いを開催して、障がい者スポーツとは何かを、スポーツによって生活や権利などが保障された環境を作つてノーマライゼーション的な考え方を問いただしたい。

⇒ 開催時期、場所、実施体制、収支予算を明確にした企画書ができ次第再審議。

■ 「アスリートセカンドキャリアーセミナー」（担当：黒田）

日ハムを引退した斎藤佑樹氏やスピードスケート金メダリストの清水宏保氏などがセカンドキャリアに関する活動（事業）をしているので、それらに関連したセミナーを実施。

⇒ 趣旨、開催時期、場所、実施体制、収支予算等を盛り込んだ企画書を作成した時点で再審議。

第6号議案 その他

■ 年次総会について

前回と今回の理事会で令和3年度の事業報告および令和4年度の事業計画については承認が得られたので、次回は年次総会を開催することになり、それに先駆けて理事会を開催し最終確認をおこなう。

開催日は6月9日（木）で、理事会は19時～19時30分、総会は19時30分～21時。

■ 各種支援金の用途について

森川氏から、今後の協会運営資金として大いに活用すべきだが、まずは、コロナの影響で収入が減少した対象事業について補充すべきとの意見が出され、承認された。

昨年度は同様の視点から交通費の補充をしていたが、検討して実施したい。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後 8 時 30 分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

令和 4 年 4 月 22 日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議 長

山西 勝印



議事録署名人

宇佐美 彰朗



議事録署名人

伴原 章大

